



だいすき! SAKAHOGI



CS
新聞

「ふるさと・坂祝学習」真っ最中!!

子どもの思いに耳を傾けよう/若者の参画を応援し見守ろう

《子どもの思いに耳を傾けよう/若者の参画を応援し見守ろう》について

昨年度から、子どもたちの思いに耳を傾けようと、「ゆるトーク」を行っています。また、「活動を仕組む前に子どもたちの意見を聞くことを大事」にしています。ボランティアの参加者が増えている現在、**子どもたちの主体的な姿を応援し、できる限り子どもたちに活動を任せて応援しようという方向で動いています。**皆様も子どもたちを巻き込んだ活動を仕組まれる場合はご協力いただけると、未来の坂祝をつくる子どもたちの育成につながると思いますのでよろしくお願い致します。

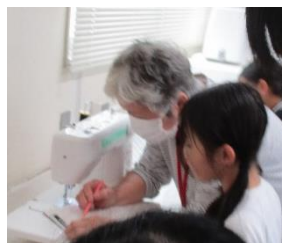
【小学校】5・6年 家庭科支援

★5年生 名前タグづくり ★6年生 ナップザックづくり

夏休み明けから、5年生と6年生の家庭科で支援ボランティア活動が行われています。5年生は、夏休み前に学習した玉結びや玉止め、なみ縫いや本返し縫いを使って自分の名前を入れたタグをつくりました。タグは11月にある関研修の鞆に付ける予定です。

6年生は、ミシンを使ってナップザックを作っています。完成後は10月にある修学旅行で使う子も出てくるのではないのでしょうか。

両学年とも、わからないと自分から聞いてくる姿がたくさんあり、完成に向けてがんばっています。



◆ ふれあい交流会

9月20日(日)にふれあい交流会がありました。今回、ふれあい交流会を開くにあたり、「ゆるトーク」の中で「どんな会にしたい」と、問いかけると「誰もが楽しめる会にしたい。」という声が子どもたちから出ました。そこで、子どもから高齢者まで、誰もが平等に楽しめる会にするために、ペットボトルを使った競技やわかりやすいルールが次々と考えられました。子どもたちだけで運営するブースもありました。

中高生のボランティアの人たちは大人顔負けのルールの説明をし、うまくいったときには大きな声や表情で一緒に喜んでくれる姿があるなどよい雰囲気の中で終わりました。



【多文化共生委員】 ◆放課後学習会・すまいるひろば

★放課後学習会

9月14日（月）の放課後に小学校図工室で学習会を開きました。

外国人の子どもたちを中心に宿題を中心に教えていましたが、今では日本の子たちも大勢参加して頑張ってくれています。

当日は、岐阜大学看護科の薦さんがボランティアとして参加をして、わかりやすく教えてくださいました。



★すまいるひろば

9月20日（日）の午後2時から中央公民館で「すまいるひろば」を行いました。この日は、「たたきぞめ」と言って紙の上に葉や花を置き、クリアファイルにはさんだ後、木づちで上からトントンとたたきました。紙には、葉や花の色や形が写ってきれいな模様ができました。完成後も、好きな花材を選んで思うままに作成していました。この日も、岐阜大学看護科の薦さんと友達の刈谷さんも来てお手伝いをしてくれました。大勢の参加がありにぎわいました。



◆幼稚園と小学校の親子環境整備作業に CS も応援

★幼稚園親子冒険山階段づくり

9月25日（金）の9時から2時間程度冒険山の階段づくりの整備作業を行いました。

冒険山の中にあつた今までの階段が朽ち始めてきたので、今回、可茂森林組合の人たちの指導の下親子で階段づくりを行いました。CS委員の方々も応援に回りました。

子どもたちは、大人に支えてもらって、木づちで上手に杭を打っていました。これからも、より安全に活動することができるようになりました。

